

本文：

[illegible]

T | O | P | I | C | S |

『製薬業界で加速する R の活用 ～その将来性と得意分野～』

<https://x.gd/FdNNn>

《医療分野のデータ解析を実務で有効活用！》

<https://www.juse.or.jp/src/seminar/detail/99/30350>

★

1 | <無料講演>

| | 日科技連・オンライン講演

『製薬業界で加速するRの活用 ～その将来性と得意分野～』

開催日：2025年9月26日(金) 14:00～15:10(予定)

https://x.gd/FdNNn

近年、オープンソースの統計解析言語 R の活用が世界の製薬業界で急速に進んでいます。海外の大手製薬企業では、FDA への申請資料作成に R が用いられるなど、その動きは業界標準となりつつあります。その背景には「最新の統計手法を試したい」「複雑な例数設計シミュレーションを実行したい」「レポート作成を自動化したい」といった、臨床試験の解析業務における共通の課題を解決する強力なツールとして R が注目されている実情があります。

本講演では、R の得意分野である、データハンドリング、統計解析、シミュレーション、グラフ作成、レポート作成について、具体的な活用例を凝縮して紹介します。R がいかに日々の業務の生産性を向上させるか、その可能性を見ていただければと思います。

また、「Rによる統計解析実践セミナー」を今年も2026年1月～3月に開催いたしますので、セミナー受講を検討される方はぜひお気軽にご参加くだ

さい！

■開催概要

- 1) 日程：2025 年 9 月 26 日(金) 14:00～15:10(予定)
- 2) 開催形式：Zoom によるライブ配信（ウェビナー）
- 3) 対象：以下のような方で、現在、R を活用している、活用しようとしている方で、R の活用方法を幅広く知りたい方。また、活用方法を学んでみたい方。
 - ・臨床試験の統計解析・臨床開発・データマネジメントの担当者
 - ・薬事・監査・非臨床試験製販後調査・安全性・学術・医薬情報などに携わっている製薬企業や CRO、規制当局の担当者
 - ・臨床医学・薬学・健康科学・看護学の研究者
 - ・大学病院やナショナルセンター等で ARO 業務の従事者
- 4) 参加費：無料
- 5) プログラム（敬称略）：

★講演★（60 分）

【タイトル】

『製薬業界で加速する R の活用 ～その将来性と得意分野～』

【講演者】

松浦 健太郎 氏（株式会社ホクソエム）

＊「R による統計解析実践セミナー」指導講師

【講演概要】

R の得意分野である、データハンドリング、統計解析、シミュレーション、グラフ作成、レポート作成について、具体的な活用例を凝縮して紹介します。R がいかに日々の業務の生産性を向上させるか、その可能性を感じていただけます。

★Q&A★（5 分）

★R による統計解析実践セミナーのご参加・お申込みについて★（5 分）

★┐

| 2 | 【今年度も開催します！】

| | R による統計解析実践セミナー –2026 年 1 月～3 月開催–

| | <https://www.juse.or.jp/src/seminar/detail/99/30350>

└─┘

★

臨床試験を中心とした医療分野のデータ解析を実務で活用したい方に適した短期セミナーです。

本カリキュラムでは、Rを用いたデータ加工や基礎的な統計解析から、臨床試験で頻用される統計手法である一般化線形モデルや生存時間解析、経時測定データ解析等を、基本的な手法の理解の側面とRによる統計解析の側面の双方から、体系的に学んでいきます。また、ベイズ流解析や臨床試験における共変量調整などのアドバンストな内容も、実践的な側面から取り扱います。

9つの講義をオンデマンドで視聴した後に、集合形式で研修を実施します。集合での研修では、実践的なグループワークを通じて、解析計画の立案や結果の報告までを一通り体験します。これにより、学んだ知識を応用し、実践に活かすスキルを身に付けることができます。

また、限られた期間ですが、講義についてはオンライン配信のアーカイブ視聴により、時間や場所に縛られず復習することができます。Rによる統計解析を学びたい製薬関連企業の統計担当者、大学・病院の研究者や医療従事者、規制当局の審査員等の方々に受講をお勧めいたします。

なお、「臨床試験セミナー統計手法専門コース(CT)」(2025年10月開講)を受講していただくと、本セミナーの内容の理解がより深まります！

【開催日】 2026年1月～3月

【開催形式】 2026年1月～2月：オンラインでオンデマンド視聴
2026年3月4日(水)：集合でグループワーク、Q&A

【対象者】

- ・ 臨床試験の統計解析・臨床開発・データマネジメントの担当者
- ・ 薬事・監査・非臨床試験製販後調査・安全性・学術・医薬情報などに携わっている製薬企業やCRO、規制当局の担当者
- ・ 臨床医学・薬学・健康科学・看護学の研究者でRによる統計解析の基礎を学びたい方々
- ・ 大学病院やナショナルセンター等でARO業務に従事する医師・薬剤師・保健師・看護師等の方々
- ・ 日科技連主催「臨床試験セミナー統計手法コース(CT)」や「臨床試験セミナー統計手法専門コース(BioS)」の参加者、もしくはそれと同等レベルの知識のある方

【特徴】

- ・ 講師陣による厳選した講義をとおして、R による統計解析の基礎が習得できます。
- ・ 講師陣は、生物統計学や臨床試験方法論の教育・研究に従事している大学教授等です。
- ・ 講義はオンライン配信であり、アーカイブ視聴で復習が可能です。
- ・ 実践的なグループワークを通じて、臨床試験における共変量調整に関する解析計画の立案と結果報告までを一通り実践できます。
- ・ 対面形式で質疑応答の時間を設け、受講生の疑問に担当講師が丁寧に回答します。

【参加費(税込)】

一般：181,500 円／賛助会員：165,000 円（税込）

★お申し込みはこちら↓

<https://www.juse.or.jp/src/seminar/detail/99/30350>

ご不明な点がございましたら遠慮なくお問い合わせください。
皆様のお申込を事務局一同心よりお待ちしております。

★
<2025 年度 医薬・医療統計関連 教育/セミナーガイド>

<https://www.juse.or.jp/aboutus/introduction/guide.html#>

<医薬・医療統計関連セミナー一覧>

<https://www.juse.or.jp/src/seminar/result.php?c=14>

<2025 年度 日本科学技術連盟 セミナーサイト(全セミナー案内)>

<https://www.juse.or.jp/src/seminar/>

[問い合わせ先]

一般財団法人日本科学技術連盟 医薬セミナー事務局

jusemedi@juse.or.jp